

インマヌエル中目黒キリスト教会
2010年7月4日
聖日礼拝

「諸民族のさんび」

黙示録7章9-17節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

ヨハネの黙示録7章9-17節

9 その後、私は見た。

見よ。

あらゆる国民、部族、民族、

国語のうちから、

だれにも数えきれぬほどの

大ぜいの群衆が、

白い衣を着、

しゅろの枝を手に持って、

御座と小羊との前に立っていた。

10 彼らは、大声で叫んで言った。

「救いは、

御座にある私たちの神にあり、
小羊にある。」

11 御使いたちはみな、

御座と長老たちと四つの生き物
との回りに立っていたが、
彼らも御座の前にひれ伏し、
神を拝して、

12 言った。

「アーメン。

賛美と栄光と知恵と感謝と
誉れと力と勢いが、

永遠に私たちの神にあるように。

アーメン。」

13 長老のひとりが私に話しかけて、
「白い衣を着ているこの人たちは、
いったいだれですか。
どこから来たのですか。」
と言った。

14 そこで、私は、

「主よ。

あなたこそ、ご存じです。」

と言った。

すると、彼は私にこう言った。

「彼らは、

大きな患難から抜け出て来た

者たちで、

その衣を小羊の血で洗って、

白くしたのです。

15 だから彼らは

神の御座の前にいて、
聖所で昼も夜も、
神に仕えているのです。

そして、
御座に着いておられる方も、
彼らの上に幕屋を
張られるのです。

16 彼らはもはや、
飢えることもなく、
渇くこともなく、
太陽もどんな炎熱も
彼らを打つことはありません。

17 なぜなら、

御座の正面におられる小羊が、
彼らの牧者となり、
いのちの水の泉に
導いてくださるからです。

また、

神は彼らの目の涙を
すっきりぬぐい取って
くださるのです。」

説教

WGM宣教大会を終えて

「諸民族のさんび」

黙示録 7章9-17節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「見よ。

あらゆる国民、部族、民族、

国語のうちから、

だれにも数えきれぬほどの

大ぜいの群衆が、

白い衣を着、

しゅろの枝を手に持って、

御座と小羊との前に

立っていた。」 (黙示録7:9)

1. WGM百周年宣教大会 (写真の連続展示とともに)













①大会

- **WGM**は、**1910年**、
米国ホーリネス派の
共同的宣教団体として誕生。
- 現在、約**40**カ国に
宣教師を送るまでに発展

- その百周年記念宣教大会が、
マリオンの
インディアナ・ウエスレアン大学で
- **6月24－27日に開かれた。**

②出席者

- ・ 現役・引退宣教師、サポーター、**19カ国**から現地教会指導者たち
合計**921人**
- ・ 聖会出席は、延べ**1,000人強**
- ・ 日本からの参加者は、牧師**6**、
宣教師**4**、信徒**4**の合計**14名**
(プラス・在日の元・現宣教師)

③プログラム

- 六回の聖会
(宣教師の証し、
説教者の半分は米国人以外)
- 課題別・地域別の分科会

2. 黙示録7章の位置づけ

黙示録：終末の希望に基づく励まし

1章：「教会の主」の幻

2－3章：

諸教会に対する主のメッセージ

4－5章：天上における礼拝

6－8章：神の審判の計画の開示
(7つの封印解除)

7章：第6と第7の封印解除の間の 間奏曲

前半(1－8節)：

14万4千人(地上の教会)の礼拝

後半(9－17節)：

天上での諸国民の賛美・礼拝

3. 諸国民の礼拝

- ① 数え切れないほどの大群衆
- ② 諸国・諸言語の民:宣教の広がり
- ③ 白い衣の人々：
純潔と練りきよめられた品性
- ④ 勝利と救いを賛美
- ⑤ 主のご臨在と慰め

4. 諸国民の礼拝の挑戦

- ①この大群衆に加わる
- ②この群衆に隣人を加える
- ③世界宣教に貢献する